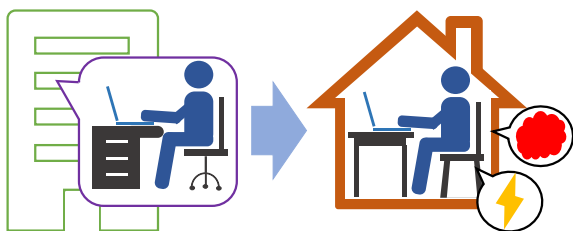


# リモートワーク等の推進による住宅内の行動変容とエネルギー消費に関する調査



国立研究開発法人 建築研究所 環境研究グループ 研究員 上野 貴広

## 新型コロナ流行による生活の変化



在宅勤務や外出自粛等で生活環境に変化  
→新型コロナ流行による**住宅内の行動変容**や  
**エネルギー消費の変化**をアンケート調査

## アンケート調査概要

在宅勤務となった**約1,000世帯**の**春と夏**を対象

### 調査項目の概要

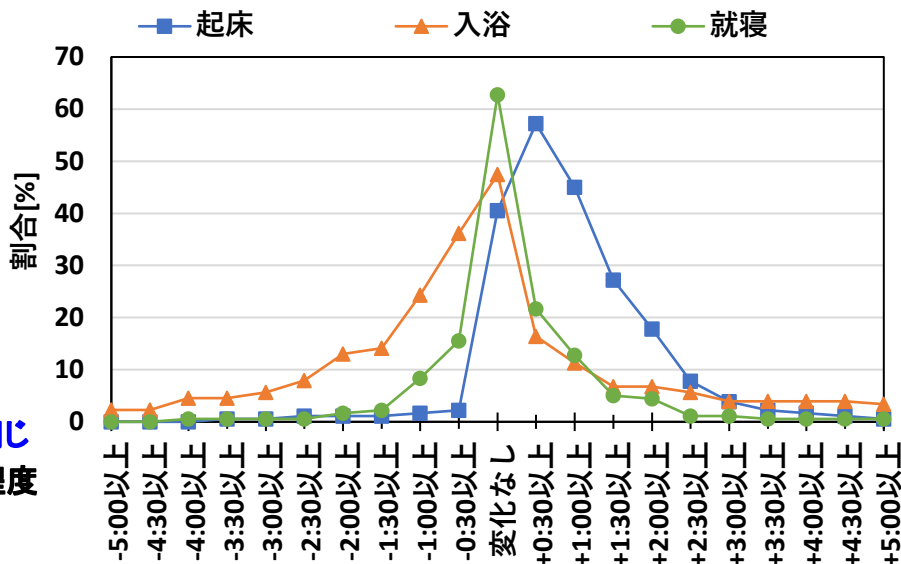
住まいと家族	建て方と間取り、性別と年齢
家電製品	家電の有無、仕様、使用頻度
スケジュール	起床、出勤等の平均時刻
空調	空調の使用頻度、使用時間帯
給湯	給湯の使用・湯はり頻度
エネルギー消費	電気、ガスの使用量
意識	使用量の変化、無変化の理由

## 住宅内での生活スケジュール分析

起床、入浴、就寝時刻の、**2019年と2020年の差**を集計

- 起床時刻は60%以上が変化  
→**40%以上が1時間以上遅く**
- 入浴時刻も50%以上が変化  
→**早くなった人の割合**が大きい
- 就寝時刻は70%以上が**ほぼ同じ**  
→1時間以上前後は合計20%程度

リモートワークによって、**実施者のスケジュール**が変化



### 回答者の生活スケジュール変化分布

## 世帯における電力消費量分析

2019年から増加した世帯を抽出

- 30%以上(約300世帯以上)で増加  
→約100世帯以上で**20%以上増加**
- 増加世帯の**4割~5割**が、増加理由に**心当たり無し** or 回答時に**初めて増加を自覚**

省エネに対する**取っ掛かり**としての**気づき**や、**有効策検討**のための**増加原因**の提供が重要

